

新規事業採択時評価結果（平成19年度 新規着工準備箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：松谷 春敏

事業の概要

事業名	塩田町誉田町線（塩田町）	事業区分	街路	事業主体	千葉市
起終点	自：千葉市中央区塩田町392-1番地先 至：千葉市中央区生実町834-1番地先		延長	0.78 km	
<p>事業概要</p> <p>千葉中環状道路は千葉都心を囲む延長約20 kmの環状道路であり、供用中の京葉道路を除いた約10 km区間が地域高規格道路の指定を受けている路線である。塩田町誉田町線（塩田町）は、一般国道357号から京葉道路蘇我ICまでの区間であり、JR内房線との立体交差を含む延長0.7 kmの6車線（本線4車線、副道2車線）の道路である。当該区間の整備によって、千葉中環状道路が連続した環状道路として供用することができる。</p> <p>事業期間 平成20年度～平成28年度</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>当該区間の整備により、千葉都心を中心とした環状道路の機能のみならず、京葉臨海部（蘇我副都心）から東南部方面を結ぶ新たな交通軸が形成され、また、京葉道路蘇我ICのフルインター化に伴う高規格幹線道路との接続など、広域的なアクセス性の向上が図れるとともに、都市内交通の円滑化、都市活動の活性化に大きく寄与するものである。</p> <p>全体事業費 177億円 計画交通量 36,000～40,700 台/日</p> <p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見
地域高規格道路の整備区間指定等について、国土交通省と調整中である。

事業採択の前提条件
都市計画変更の見通しが立っており、円滑な事業執行の環境が整っている。
便益が費用を上回っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.1	総費用 132億円 （事業費：132億円 維持管理費：0.10億円）	総便益 281億円 （走行時間短縮便益：217億円 走行費用減少便益：52億円 交通事故減少便益：12億円）	基準年 平成18年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)		
		事業費変動	B/C= (事業費 %)	B/C= (事業費 %)		
	事業期間変動	B/C= (事業期間 %)	B/C= (事業期間 %)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	【渋滞損失時間の改善】約1,302万人時/年 約1,285万人時/年		
		事故対策	-	注目すべき影響はない。		
		歩行空間	-	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	-	蘇我副都心から東南部方面を結ぶ新たな交通軸が形成される。京葉道路蘇我ICのフルインター化に伴い高規格幹線道路と接続され、広域的なアクセスの向上が図れる。		
		地域経済	-	特定重要港湾（千葉港）へのアクセスが強化される。		
		災害	-	緊急輸送道路である一般国道16号が通行止めになった場合の代替路線の一部を形成する。		
環境		-	注目すべき影響はない。			
地域社会	-	環状道路であることから、地域拠点間の連絡強化が図れる。				
事業実施環境			道路の整備に関するプログラムに位置付けられている環状道路の整備である。			

採択の理由

費用便益費が2.1と便益が費用を上回っているとともに、都市計画変更の見通しが立っていることから、事業採択の前提条件が確認できる。
環状道路機能のみならず、広域的なアクセス向上が見込まれるなど整備の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。